

PRAEVIDENTIA DAILY (2月16日)

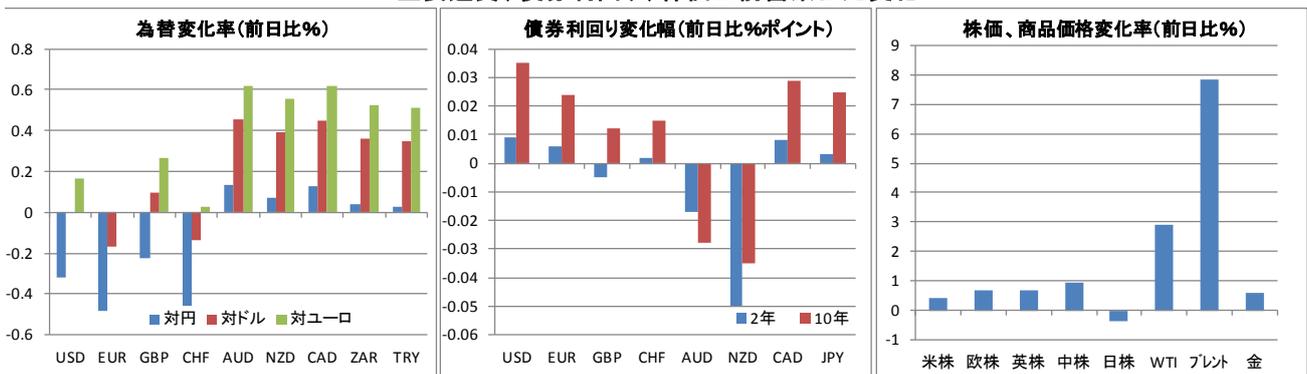
昨日までの世界：ユーロは好材料でも上がらず

先週金曜は、原油価格の大幅上昇を受けたカナダドルの上昇と豪ドルやNZドルのつれ高が特徴的だった。原油価格は特にブレント価格が8%近く上昇しており、米シガン大消費者信頼感の予想比下振れを受けた米ドル安もあって、カナダドルは対米ドルで1.25ドル台から一時1.2418ドルへ上昇した。

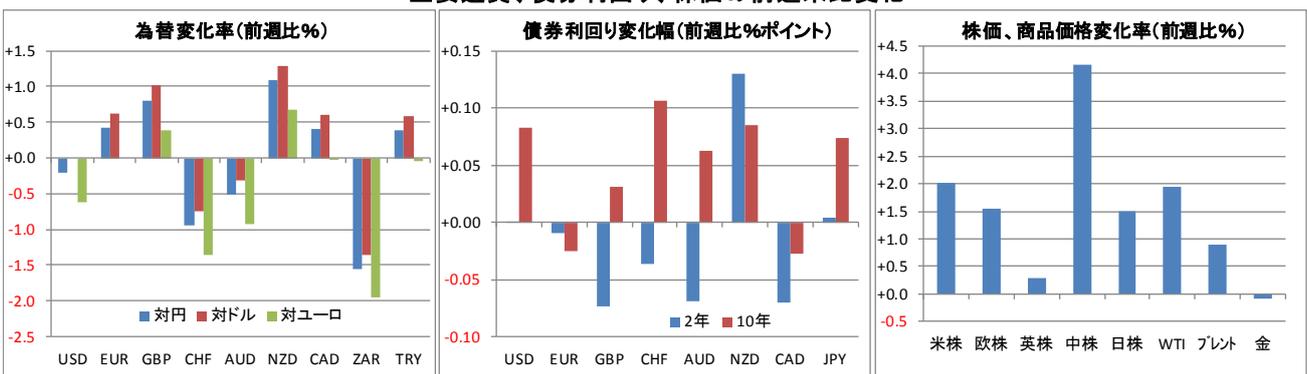
ドル/円は、原油価格上昇やギリシャ問題解決への期待感を受けた米中長期債利回りの上昇は押し上げ材料だったはずだが、前日の大幅下落の後119円丁度を挟んで動意薄となっており、むしろシガン大消費者信頼感が93.6と前月・市場予想の98.1から悪化したことから軟化した。

ユーロは、ユーロ圏4QGDPが前期比+0.3%、前年比+0.9%と前期および市場予想を0.1%ポイント上回り、かつギリシャとトロイカがブリュッセルで支援問題について協議する中で、16日のユーロ圏財務相会合で合意に達するという期待感が高まり、ギリシャ国債利回りが低下するなど、好材料が多かった。米消費者信頼感指数の悪化もユーロ/ドルの支援材料だったが、ユーロは非常に重く、結局1.14ドル台前半から1.13ドル台後半へ弱含みとなった。

主要通貨、債券利回り、株価の前営業日比変化



主要通貨、債券利回り、株価の前週末比変化



きょうの高慢な偏見：日銀緩和なし、ギリシャ合意なし？

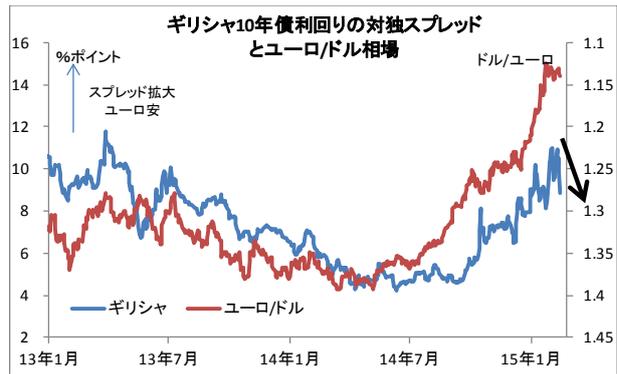
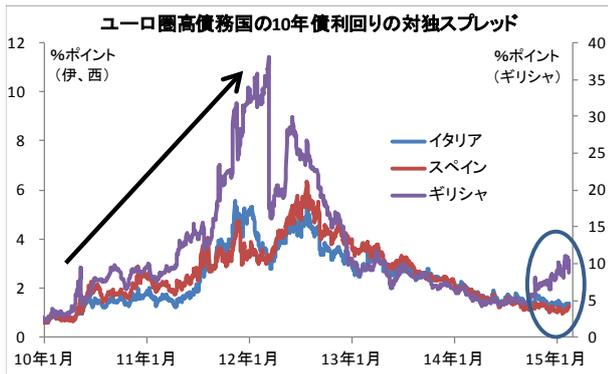
きょうの注目通貨：EUR↓、USD/JPY↓

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
<16日>米、ブラジル休場				
NZ4Q 小売売上高・前期比	6:45	+1.52%	+1.3%	実績+1.7%
本邦 4Q GDP 速報・前期比年率	8:50	-1.6%	+3.7%	
ユーロ圏財務相会合				ギリシャ支援合意？

(出所) トムソン・ロイター等を基にプレビデンティア・ストラテジー作成

本日はユーロ圏財務相会合でギリシャ支援問題で何らかの合意に至るかが注目される。現行支援プログラムの延長の場合などには各国議会での承認プロセス等に日数が必要であることから、16日が支援延長要請の実質的期限とされている中、紆余曲折の末現行支援プログラム継続で合意したり、その方向で交渉が継続されれば一旦のユーロ買戻しになるとみられる。現在市場はこのシナリオをメインシナリオとしているようだ。もっとも、これまで殆ど歩み寄りがみられていないことから、今回も具体的な進展なく終わると、EU・IMF側が求めている現行支援プログラムの延長が困難になることから、2月28日までの現行支援プログラム期限と3月入り後のギリシャ債務不履行リスクに向けて、再びユーロ売り圧力が高まるとみられる。先週金曜は合意への期待感が高まりギリシャ国債利回りが低下したが、これまでのところ上昇基調に変化はない(下図を参照)。

ドル/円は米国休場で動意薄とみられるが、本邦4Q GDPの予想比上振れの場合、最近広がりつつある追加緩和不要論が強まり、円高圧力となりそう。またギリシャ問題に進展が見られない場合も、株安が円高圧力となりそう。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様自身でご判断下さいませようよろしくお願い申し上げます。
 当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。
 当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
 金融商品取引業者(投資助言・代理業) 関東財務局長(金商)第2733号
 一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641